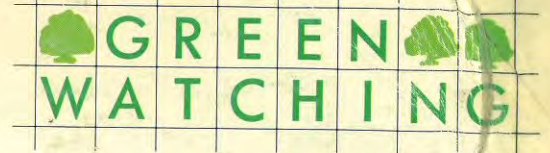


発信します。熊本グリーンウォッチング



いま、本当に謙虚な心で、私たちの方から「緑」に近づいてみませんか。

いま、本当に素直な心で、「緑」に触れてみませんか。

そこでは、素晴らしい「緑の知恵」が発見できるはずで

「森の都」熊本。人間と緑が調和し躍動する熊本。

私たちは、いま、「緑」に注目しています。緑の基地をめざします。

輝く緑は、人々にやすらぎを与え、守り、育てます。みずみずしい緑は新鮮な情報を生み出し、育みます。

それはきっと新しい交流を生み、すばらしい文化を生み出すと信じます。

私たちの気持ちは、時代と場所を越えて、この地球に住む人々の気持ちだと確信します。

緑の風が地球を駆けめぐる——なんと心躍る試みてでしょうか。

ここ熊本には幸いにも豊かな緑があります。

私たちは、まず緑に近づき、緑を体験し、新しい緑を発見したいのです。

発信します。緑のコミュニケーション——グリーンウォッチング——熊本から。

四〇〇年に及ぶ落城の悲哀か。 春誘う香りが、いと美しい。

兜梅

(本渡市浜崎町)

天草氏代々の居城といわれる本戸

城。その東麓平地にある延慶寺の庭



園内には、白色一重の梅の木がある。主幹樹高は約三メートル、根回りは約一、七メートルある。東西に約十二メートル、南北に約六メートル枝が張っている。樹齢は五百年をこえる。兜梅の名称については、天正十七年(一五八九年)小西行長、加藤清正の攻略による本戸城落城の際、木山弾正の妻お京の方の兜が、この梅の枝にかり抜け落ち、女性とわかり、打ちとられたという伝承に由来する。小さな花の咲く頃は、多くの市民が訪れ、初春を楽しんだり、俳句を詠んだり、憩いの場となっている。

●県指定天然記念物

昭和57年8月28日指定

撮影 宮井政次さん

ご回覧、ご陳列下さい。